



芸術の秋にふさわしいステージでした！ ～ しらかわ音楽の祭典 ～

7日（土）、白河文化交流館コミネスにて、しらかわ音楽の祭典が行われ、本校の合唱部、吹奏楽部が出演しました。両部とも、3年生にとっては最後のステージとなりました。紅葉祭での発表に負けたくない、心のこもった素晴らしい演奏を披露してくれました。



（ 美しいハーモニーを響かせてくれた合唱部、ノリノリの演奏で会場を沸かせた吹奏楽部、どちらも最高でした！ ）

自分も、相手も大切に ～ いのちの教育講演会 ～

9日（月）、2年生を対象に「いのちの教育講演会」を実施しました。助産師の吉岡利恵先生を講師にお招きし、男女の心身の特質を理解するとともに、異性との望ましい人間関係についてお話を聞きました。性に関する誤った情報に惑わされることなく、男女ともにより正しく望ましい行動ができるようになってほしいと思います。



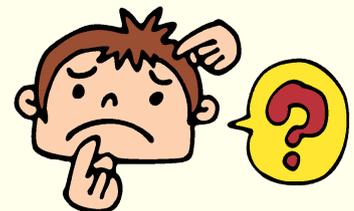
朝会でこんな話をしました ～ 11月9日(月)「記憶すること」～ ※ 抜粋

人間の頭の中には、机と本棚とゴミ箱が置かれています。私たちは物事が起こるたびに、それを「記憶」としてその机の上に置いていきます。これを「短期記憶」と言います。「昨日は〇〇を食べた」「さっき友達と電話で話した」「お母さんに用事を頼まれた」・・・机の上は様々な短期記憶であふれていきます。脳は、さほど重要ではないと判断した短期記憶は、頭の中のゴミ箱にポイッと捨ててしまいます。

では、脳はどんな記憶を重要な記憶と判断するのでしょうか？ それは何度も何度も繰り返された短期記憶です。例えば皆さんの担任の先生の名前。全員言えるでしょ？ それは何度も何度も呼んだり、聞いたりしているからです。脳は、「こんなに何回も繰り返されているということは、大切なことなんだ。忘れちゃいけないんだ！」と判断します。するとその記憶は机から本棚に移動します。このように本棚にきちんと整理された記憶を「長期記憶」と言います。長期記憶は、簡単には忘れません。学校の勉強で「復習が大切！」という理由はここにあります。

ドイツのエビングハウスという学者は記憶に関する研究を行い、長期記憶として保存するためには反復することが大切だということを言っています。彼の研究によれば「24時間以内ならば10分程度の復習をすることで、記憶は強化される。何もしなければ、24時間後には80%近くの記憶が消えてしまう。」のだそうです。

やはり復習すること、何度も何度もこつこつと繰り返すことが大切なのです。



< 次週の予定 >

日 曜	主 な 行 事
16 月	朝会 B日課 三者面談 生徒会役員選挙告示
17 火	B日課 三者面談 残菜を減らそう週間
18 水	残菜を減らそう週間
19 木	研究公開 部活動中止 ※ 研究授業クラス：弁当を持参、5校時で下校(14:40) そのほかの学級：4校時で下校(12:35)
20 金	B日課 三者面談



◇◇ 今週の言葉 ◇◇

自分で考え、自分で判断し、
自分で決めて、自分で行動する。
人や環境の所為（せい）にしない、
強い自分になろう。

